

かけはし

岩国市立錦中学校だより 第7号

令和2年(2020年) 7月9日(木)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

必殺技『熱殺蜂球』

校長 秋本 泰宏

7月17日に行われる生徒総会に向けて、7月の月頭集会では、次のような話をしました。

今日は、必殺技『熱殺蜂球』の話です。この技は、「ねっさつほうきゅう」と読みますが、格闘アニメやゲームの技ではありません。人の使う技でもありません。この必殺の技を使うのは、昆虫です。

自然豊かな錦町・美川町には様々な昆虫がいます。だからいろいろな虫を知っていると思います。だから、小学生であれば、知っている虫をいろいろ上げて考えると思いますが、中学生のみなさんは、おそらく字から、何の虫か想像がつくと思います。

みなさんの予想通り、「ハチ」の必殺技です。ところが、ハチにも色々な種類があります。すべての蜂がこの必殺技を使うわけではないのです。この必殺技を使うのは、スズメバチ、セイヨウミツバチ、ニホンミツバチの中のどのハチだと思いませんか。

答えは、ニホンミツバチです。スズメバチは、人だけでなく他のハチも襲います。他のハチの巣を襲撃して、幼虫やさなぎはもちろん、成虫まで襲うそうです。

スズメバチが襲ってくると、セイヨウミツバチは、どうすることもできなくて、巣は全滅してしまうそうです。

ところが、ニホンミツバチは、スズメバチが巣を攻撃してくると、巣から飛び出して、スズメバチを塊のように取り囲みます。これが必殺技『熱殺蜂球』です。

ニホンミツバチは、羽を震わせて、蜂球の温度を48度くらいまで上げて、スズメバチを熱で殺すそうです。スズメバチは、45度くらいの温度になると死んでしまうのですが、ニホンミツバチは、50度くらいの温度になっても耐えることができるので、ニホンミツバチは死ぬことがないそうです。

ニホンミツバチは、自分たちの巣を守るために、仲間と協力して必殺技の『熱殺蜂球』を使って戦うのです。

今月は17日に、生徒総会があります。今、みなさんがいろいろな考えを出しているところだと思います。

ニホンミツバチのようにみなさんもみんなのことを考え、錦中全員で知恵を出し合い、実行に移すことができれば、錦中は、もっとすばらしい学校になると思います。

最近、月頭集会の話は、生徒が参加できるスタイルを意識して話しています。生徒が、全校の中で発表してくれる姿や正解に対して拍手する姿、周りとは相談しながら答えを探す姿に優しく温かい雰囲気を感じます。錦中の月頭集会の様子は『熱殺蜂球』ではなく、『温優人球』だなどと話しながら感じた7月の月頭集会でした。



校歌斉唱は〇君の伴奏で

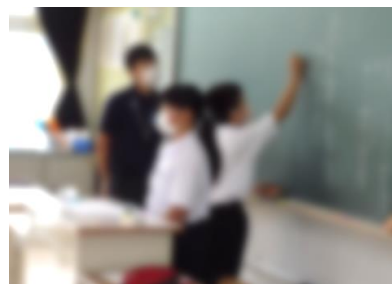
生徒総会に向けて



3年生の様子



2年生の様子



1年生の様子

7月17日（金）に行われる生徒総会に向けて、6月23日（火）、29日（月）に学級会が行われました。まず23日には、本年度生徒会スローガン『身も心も清く』を実現させるために、錦中学校の整理整頓の現状を共通理解し、学校を生徒全員できれいにする意識を高める具体的な方策について話し合いました。さらに、29日には、掃除の仕方について、自分たちの取組を振り返り、より学校をきれいにする意識を高める方法について話し合いました。生徒総会で活発な意見が出され、生徒の自治による学校運営がなされることを期待しています。

本年度はじめての定期テストを実施しました



3年生の様子



2年生の様子



1年生の様子

7月7日（火）、8日（水）本年度初の定期テストである一学期期末テストが行われました。本来であれば中間テストを実施していますが、本年度はコロナウイルスの影響により、期末テストが初めての定期テストとなりました。いつもは、グループ協議などしながら、和気あいあいとした雰囲気の中の教室も、この日は、静かな教室の中でこつこつと鉛筆の音が響き、テストに向かう真剣さが伝わってきました。

1年生は、小学校と違うテストの雰囲気に、ずいぶん疲れたのではないのでしょうか。

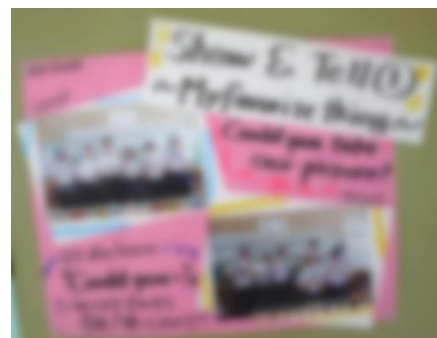
令和3年度公立高等学校入学者選抜に変更点があります

3年生については、担任からすでに説明があったと思いますが、改めて説明します。山口県教育委員会から岩国市教育委員会を通じて新型コロナウイルス感染症による中学校等の臨時休業に伴い、来年度（現在中学3年）の公立高等学校入学者選抜について以下の2点について変更があるという通知がありました。

【変更点1】学力検査すべての教科に選択問題を設定
（注意）選択問題とは、答えを選択して記号で答える問題ではありません。

【変更点2】学校指定教科検査の中止

不明な点については、保護者懇談会等を通じ、担任にご確認ください。



英語科で学習した表現を身近に感じてもらうため掲示物も工夫されています。